

いっしょにやってみないか  
新メンバーを募集中

くろさき青年ネットワーク (SNK) では、新メンバーを募集しています。資格は特にありません。現在18歳から30歳ぐらいまでの人が中心に活動しています。20人ぐらいで、女性がやや多目です。

- 主な活動は—
- ①茶道教室 隔週ごと 10名ほど参加
  - ②スワップミート 新潟市の不用品即売会に参加
  - ③コンサートの開催 リコーダー奏者小俣達郎氏を招いて演奏会を実施
  - ④県外視察 東京の日本青年館などで視察。1泊2日です。

- ⑤スキー教室 1泊2日で妙高。
- ⑥三遊亭新潟、小林へろ二人会を開催。今月18日に開催します。

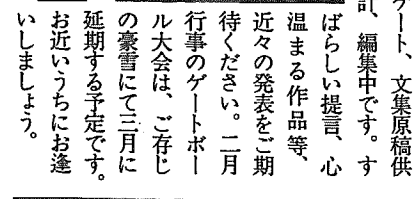
関心のあるかたはお気軽に連絡してください。固苦しい会ではありません。個人の自由を尊重して活動しています。

問合せ ☎377-3101 社会教育課



暖冬に慣れた身には、この度の大雪には参りました。皆さん、如何でした。

一月二十八日、新年の初会には、寿学級意見発表会を設けましたが、二十数名多数の参加をいただき、寿シルバーパーの嬉しいを感じました。午後からのビデオの反省会、「あれっ、俺の声色か？」なんて新発見もあつたのでは。その気持と行動力を、他の会合にも発揮されてます。三月に入り、三月に切り替わった。冬籠りでたくわえた活力



入会希望は社会教育課へ ☎377-3101

第10回  
「炎立つ寿シルバー」意見発表会」 A生

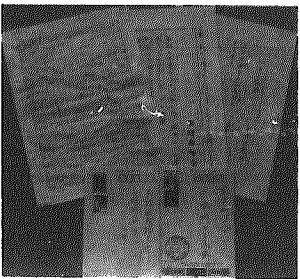
「我が子に機会あることに、交通事故から身を守る方法を教えています」と言うあなたは、子育てのプロですね。三歳、六歳位にかけて、食事・睡眠・排泄・着替・清潔の基本的習慣が身に付き、日



子供の手をしっかりと握って  
交通事故から守りましょう。

常の言葉について、意志・要求・感情・意見が伝わる時期となります。幼児は一つの事を思い込むと、その一つの事に夢中になり注意力や他の何もが視えず、自分の自我が優先する行動にと走り、

たいもの。そして幼児を持つ親御さんは、幼児の行為そのものが赤信号だと思つて子供の手をしっかりと握って、交通事故から我が子を守りましょう。



- 募集しています
- 短歌
- 俳句
- 詩
- 随筆
- イラスト
- 写真
- まんが
- その他
- 町への意見や要望も受け付けます
- 文章は苦手という方たは連絡を取材に行きます
- 匿名もよいです
- 投稿・連絡先は黒崎町大野2043-1 広報「街かど」係 ☎377-3101

街かど

正月を迎える仕度。みつつ災害の人等如何にぞと。大谷 モト

足病みて鬱きこもる身。赤い足。泉井 ヨ子

病む鳥を困える檻に。大鷲の肩。白々と身じろぎもせず。竹中千代子

松上の鶴の掛軸。清らかに。家。大矢 キイ

除夜の鐘に二年参りの人現。てお諏訪神社の境内に。永田キヨイ

五十年終りにし和服の。それを眺め捨て得ず。愚か者我。長谷川トリ

亡き友に詣りてむと春の道。行けば野面ははやも小草萌え。小出美喜子

病室にかつかつびく靴音の。沁みて羨しく我足た。阿部 淨子

納得の行かざる日々を。ひた走る世相追いつき。抜く我は。山田 卯八

望み来てようやく買ひし。藤袴。柴垣 きみ

暗き世に天使生まれる我家に。は溢れるばかりの。初春も手足失える心地せり。米。笠原 セツ

輸入阻止の巻。やぶれて。初春も手足失える心地せり。米。笠原 セツ

凍光や梢の落とす。ひとしづく。秀子

花々信濃の流れ雪の原。文雄

待春の我にとどきし。よき便り。みよし

元日や長寿の着で。祝いけり。みどり

花拵けて。扇あかるし。春隣。モト

どの山もむらさき色の。初景色。律子

夕映えの野に。黒々と冬木立。義男

固唾呑み。お点前見入る。初稽古。とし

指で押し固さした。しめ餅を切る。きい

割烹の主の活けし。猫柳。信子

幼子のまはらぬ舌で。初電話。玲子

板の間に。待て正座語初。弘子

卓上に。広げし句集。寒灯下。成子

雪解水。リズムさみさみし。庇より。千里

誰か眼にも。どんどの火の粉。爆ぜて。舞子

敵割れし。指で将棋の駒を。友佳

屋根に。雪乗せて。ローカル電車。洋子

着く。雪覆せて。哇。黒々と。現はれし。飛浪

菜を。吊す縄の。いささか。太過ぎし。素明

安穩なる。現在に。して。友は。口火。切。り。苦。況。の。時。代。を。つ。ぶ。さ。に。明。か。す。小。林。信。子

新年の。湖に。むらがる。冬鳥に。幼。子。よ。せ。て。餌。を。や。る。な。り。板。井。綾。子

夫病みて。車に。の。れ。ぬ。日。々。な。れ。ば。買。い。物。に。出。る。す。べ。も。な。ら。ず。小。林。く。に

軒水柱。平の。光る。日。向。か。な。小。林。と。し。松



フキノトウ

幼子の交通事故

黒崎町交通安全母の会

3月25日は電気記念日です

わが国で初めて電灯がついたのは、明治11年の3月25日、この日を記念して昭和3年に電気記念日が制定されました。電気の灯が日本にともってからは、はや百余年。現在でも、情報処理、通信、エレクトロニクスなど様々な新技術の開発が続いています。

3月 電気記念日

電気を上手に大切に使いましょう (財) 東北電気保安協会

町立図書館絵本の読みきかせ

町立図書館では、ボランティアの皆さんによる絵本の読み聞かせを行っています。

日時・対象 毎週土曜日午後2時～(3歳以上、4月から実施)、毎週水曜日午前10時30分～(3歳未満)

問い合わせ 町立図書館 (☎377-5300)

知って得する税のコーナー

地震、火災、風水害などの災害によって住宅や家財などに損害を受けたときは、次の1又は2のいずれか有利な方法によって、所得税が軽減・免除されることがあります。

1. 雑損控除による場合

①損失額—所得金額の10分の1

②損失額のうち災害関連支出の金額—5万円

のいずれか多い方の金額が課税所得から控除さ

災害と税

れます。また、控除しきれない場合、3年間の繰り越し控除が可能です。

2. 災害減免法による場合

所得金額が600万円以下の方で、災害による損害額が住宅又は家財の2分の1以上である場合、所得金額により、所得税の4分の1から全額が軽減免除されます。

